

弓道ながの

第88号

発行：長野県弓道連盟
会長 松島貞治
〒399-1801
下伊那郡泰阜村4139
TEL0260(26)2628
編集：県連広部
印刷：県成進社

巻頭言

一年を振り返って

長野県弓道連盟会長 松島 貞治



令和六年の新年を迎えおめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。昨年の役員改選で再び会長

として選任され令和五年度がスタートしました。会長になって初めて計画どおりの事業ができたこともあり、一年を振り返ってみます。実感としては、こんなに事業が続くのだから、落ち着いて考えている時間もない、という感じです。これをこなす各事業部、支部の皆様も大変なことですが皆様のおかげで何とか乗り切りました。昨年は、長野県で北信越臨時中央審査があり、また、武道館主催の

地域社会指導者研修会も新たに実施、九月を中心とその前後は行事に追われました。そんな中で、昨年十一月に外蘭名誉会長が八段に、大蔵務先生が七段に推挙され、中村美穂先生が七段に昇段されました。教士、錬士への昇格、六段昇段の方もありました。ただ、中央審査での合格者は少なく、一つの課題と思っております。全国大会では、国体での成年女子の近的優勝、成年男子の遠的三位、女子の遠的、男子の近的も入賞し、一昨年の本国体出場できなかった悔しさを跳ね返してくれました。飯伊支部の岩村選手が国体だけでなく、五月の全国弓道大会(京都)で有段者の部で優勝、さらに十一月の全国遠的選手権で前年の三位を越えて優勝

しました。これらを頂点に各支部でもそれぞれの弓士が活躍されたものと思えます。さて、県弓連の課題はいつも申しあげておりますが、今の事業、予算は会員が増えていく時期に合わせて実施されたものが継続されています。一般会員は、平成七年度をピークに400人以上減少しており、規模縮小の中でこの組織をどう維持し、活性化させていくか、という点で危機意識をもっております。ここ二年で少し見直したものもありますが、さらに進めなくてはなりません。一方、会員減少カーブを緩やかにしなければなりません。今年お邪魔したいいくつかの支部では、弓道教室が定員を超えて教えるのに大変という話を聞きました。また、高校生の弓道部員も微減で推移していると思います。地元の飯伊支部を見ておりまして、新たな会員が加わって元気だなあと感じており、このような全県の流れを継続できればと思います。また、中央審査での合格者が少ないという点では、積み上げてきた指導部事業を継続していけば、必ず成果がでるものと思っ

ております。若手指導者の誕生を願いますが、仕事も家庭も、地域でも中心となる世代です。それでも時間を見つけ稽古に励んでいただきたいと思えます。二〇二八年の信州やまなみ国民スポーツ大会に向けての準備もそろそろ本格的になり、会長の仕事も対外的なものにとられる時間が多くなりますが、県連事業は、それぞれの役員が担当していきますので今年も会員各位のご協力をお願いいたします。



鹿児島国体 少年女子選手と 控室で

祝
昇段教
え

教士七段 中村 美穂

令和五年五月五日【京都】定期中央審査会にて一次審査通過。半年後の十一月四日【東京】定期中央審査会にて頂くことができました。

東京では二次審査を帰らず応援して下さった皆様方に甲矢を落としたり瞬間、遅くまで待つて応援して下さったのにごめんなさいと心の中で叫び乙矢は妥協せず最後まで攻め続けようと今の精一杯の射だったと思います。候補者受審者番号をみてびっくり！二度見し私で合ってますかと尋ねてしまいました。

京都で二次通過できなかったのは中りだけではなくまだ足りないものがあり、弓の神様が「今はまだまだ頂いてはダメだよ」と自分を見つめ直す貴重な時間を下さったのだと思います。

七段を頂く覚悟ができていない状態での受審だった事に気付きました。周りの先生方は講習会など忙しい日々が続く中、受講生との真正面から向き合う姿勢、気配り、全力のご指導を目の当たりにし、山川先生が日頃から、「人を力で抑えるのではなく、慕

われる人にならなくてはいけないよ、人間として信頼と魅力がなくては本當の指導者にはなれないよ」と言われていたのを思い出しました。

今の私の弓との向き合い方の原点は、高校の恩師の、中りだけではない弓道^をを教えてくださったところから始まります。当時はまだその教えの深さを理解できてはいなかったと思います。復帰後も行く先々で恩師に恵まれ、弓友に恵まれ、環境に恵まれ幸々な弓道人生を送る事ができています。また今の私があるのもお稽古に審査にと一緒に歩んで下さった今は亡き弓友のおかげです。時に議論し、ぶつかり、共感し、助け合い互いに稽古する相手を尊敬し精進し成長することができました。一人ではとてもここまで成し遂げることはできなかったこととです。

また、東京以外一人ではたどり着けない方向音痴の私を心配して京都までご一緒して下さい、また連れ帰って下さらなかったら審査を受けることもできず今回東京で七段を頂くことはできませんでした。沢山の方々のご

厚意を頂けていることが有難く嬉しく感謝の言葉だけではとても足りません。

濱先生の射技資料の中に、
・一射は即ち個性の表現である、個性の表現は内容の充実を持たねばならぬ、内容の充実が全身の努力から生まれる。
・全身の努力がなければ内容の充実はない。
・個性の表現のない射は射の意味は持たない。
・弓道修練の近道は自己を捨てることにある。

・先ず修養の近道の一步は、自己を捨てることであり己の如何なる想いも叶えられる。
と続きます。

教士を前に読ませていただき、こう有りたいたいと強く思い修練し続け今現在まだまだこれから変化？進化を楽しみ、これからも先生方の教えをできる限りお伝えできるよう努力していきたいと思っています。
改めまして、私に関わり受け入れて下さった先生方、弓友に心から感謝申し上げます。



教士研修会での学び

教士六段 細田 尚



今年度の教士研修会は、十月十五日の晩秋を思わせる寒さの中での一手行射から始まりました。そして杉田先生の「一手見る限り、全員審査不合格」という講評に、あらためて気を引き締め直した次第です。

二十人の弓士が、杉田先生と新津先生のお二人の講師の先生方に修練の過程の射を見ていただいて、さらなる弓の向上をはかるべく、張り詰めた空気の中で一つの射礼の稽古に取り組みました。

杉田先生の講評に戻ります。審査についての先生のお話を、私なりにまと

めさせていただきます。

「審査会での的の中が少なく。しかし、中てればいいのではなく中らないとだめ、欠点が目に付くようだ」と票は入らない。弓を体で引く感じが弱いので、射法訓にある体の中心を意識して引くこととです。しかし、手先を使っている中りがない。横よりも縦に伸びることを意識しての稽古が大切です。また、審査は目標ではなく通過点です」

新津先生からは特に、「退場の時の寄せ足に注意して」との指摘をしていたいただきました。入場から退場までの体配にもっと気を配ることを求められていることを痛感しました。

実際に三人一つの稽古では、自分の隙だらけの射と体配が他の射手にどれだけ迷惑をかけてしまうのかを大いに反省させられました。審査では他の射手の思いがけない失敗に惑わされる事もあります。おそらく自分も迷惑をかけているのかもしれないと考えると、この日の研修会が自分を変える貴重な一日になったのではないかと思います。

先輩教士の先生方のスムーズな動き

や射を拝見していると、かつて私の先生が「長く修練を重ねてきた人の射には、その人と成りが現れる」と言われていたことを思い出しました。ご高齢の先生方の馥郁たる華を咲かせておられる射に感じ入るばかりでした。

一つの射礼については教本通り『三角形の頂点が移動するように』、また副読本の『道場の広さに合わせて美しく見せることが大切』であることを指導いただきました。長さの数字にこだわって、距離を詰めたり伸ばしたりするべきではないということでした。

再度技術について。杉田先生は、「弓道はアバウトなスポーツ。的の真ん中に中らなくてもいいからおおらかに引けばよい。しかし足踏みはきちんとやること。顔を戻してからいじると減点です。足踏み・体の中心・縦線の3点を意識するので」とお話しされました。そして、長野県の中央審査での合格率が低いことについても言及されました。即ち、会が早いことや詰め伸びが感じられないのはだめ。また離れについては、癖なく矢筋に離れることが大切である



が、自然の離れを意識しすぎると離れが弱くなる点、残身については上下左右に伸びる気持ちが大切である点などを注意していただきました。

閉講式での杉田先生の「称号者は指導者です。良い悪いは指摘できるが、悪い点をどうしたら良くできるかは指導者の引き出しを増やすしかないのです。そのためには大いに失敗する事。試行錯誤です」という言葉を胸に刻み帰路につきました。

寒い中を休むことなくご指導いただいた講師の杉田先生と新津先生、そして研修会の運営のお世話をいただいた指導部の上条先生、塩尻支部の大和先生には大変お世話になりました。この場をおかりして御礼申し上げます。

「燃ゆる感動

かごしま国体」を終えて

強化部長 永藤 聡

三年前、コロナによって中止となった鹿児島県での国体が、特別国体として開催されました。

これは、沖縄の日本復帰を記念して一九七三年(昭和四十八)に行われた「日本復帰記念沖縄特別国民体育大会」以来の特別国体でした。コロナですごくいいですね。そして今回の最後の国体で、来年度からは「国民スポーツ大会」と名称が変わります。これは「スポーツ」の価値を世界の人々と分かち合い、「スポーツ」を通じた社会変革に向け世界各国と協調していくための名称変更だそうです。……なんのことやらさっぱりわかりません。

とにかくこの最後の国体で、成年男女そろって近代的共に入賞していただきました。特に成年女子は、平成八年に一部と二部が一緒になってから初優勝という成績をあげていただき感謝にたえません。その入賞した選手たちに、一言ずつその気持ちを書いてもらいました。自分の射をいかに出すかという事に挑む最高の舞台で、成績を残せた選手の言葉を読んでいただければ幸いです。

また、入賞できなかった少年女子と本国体に行けなかった少年男子も、各自の目標に向け努力していただきました。感謝しています。これは今後の人生に活かせるはずで、成績をあげる以上に大切なことだと思います。勝つことは尊いですが、勝てなければ意味がない訳では決してありません。でも勝つっていいですね!

言っていることがとり散らかっておりますが、今年度お世話になった全ての関係者の方々に感謝いたします。来年度もよろしく願いいたします。ありがとうございました。

成年女子



写真提供：公益法人 全日本弓道連盟

中島 冬萌

この度、チーム長野の一員として鹿児島特別国体に参加し、優勝を経験できたことをとても嬉しく思います。技術面、精神面においてサポートしてくださった先生方、道場で一緒に練習し、声をかけてくださった皆様、全力で送り出してくれた職場の方々、そして両親に感謝いたします。

振り返れば、悔しい思いをした高校三年の北信越国体から八年、層の厚い長野県で成年女子の選手に選ばれた時は身が引き締まる思いでした。チームの経験豊富な二選手には、常に後ろから支

えてもらい、どんな場面でも安心して打ち起すことができました。

合宿や試合の中で監督がかけてくれた、「弓道が好きで自分たちはここにいるんだ」という言葉は心の奥に深く刻まれ、緊張でよそ行きの弓を引こうとする自分の気持ちをほぐしてくれました。

また、私個人としては今大会で見えた課題も多く、それを今後に繋げていきたいです。

最後になりますが、長野県の弓道を支える皆様のお力添えで、恵まれた環境で練習でき、全力で弓道に向き合っていることに深く感謝申し上げます。

蟹澤 絢音

三年前コロナウイルスの影響で延期になり、今年無事開催された事大変うれしく思います。

今大会では遠的8位、近的では優勝することができました。

私自身ブロック予選前に新型コロナウイルスに感染し、筋力と体力が著しく低下してしまい選手続行できるか不安な状態のまま、ブロック予選を迎えました。

結果的に仲間を支えてもらいなんとか予選通過を果たし、念願の本国体へコマを進める事ができました。

本国体では遠近両方予選通過し、近的は初戦から競射となりましたが何とか勝ち進むことができました。

そこからはまさに無我夢中、気がつけば準決勝で開催地の鹿児島を破り決勝戦へ進んでいました。決勝戦では三重県と対決し仲間の支えもあり長野県初優勝を果たすことができました。夢中で弓を引くあの感覚は今でも頭から離れません。

最後に日々指導してくださった先生、一緒に練習してくれる仲間、支えてくれる家族すべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

藤澤 敏恵

鹿児島国体に向けての強化合宿の中で、スポーツメンタルトレーナー加藤史子先生による講義があり、私にとってもプラスになる言葉がありました。「ポジティブな言葉はいい筋肉を作る。心の声をプラスに切り替えることで、感情に振り回されず落ち着いて実力が発揮できる」です。北信越国体、本国体の控えでは常に心の声をプラスにし、射場に入るのを待ちました。射位に立つてからもポジティブな心の声と、自分を信じ仲間を信じて一本ずつ引いた結果が近的優勝に結びついたと思っています。今回このような講義を開いていただいた強化部の先生方、そして支援してくださった全ての皆さんに感謝いたします。



成年男子



岩村 拓生

燃ゆる感動がごしま国体へ挑んで
十月十三日から十六日まで鹿児島県出水市でかごしま国体弓道競技が開催され、長野県代表選手の一人として参加してまいりました。

国体へは、昨年の北信越ブロックで負け、とちぎ国体へ行けなかった悔しさもあり、初めての本国体という大舞台で緊張こそしましたが、チームメイトの保科さん・蟹澤さんのお陰で楽しく過ごし、弓を引いてくる事ができました。

も多く中て続けていけば、苦しい場面でも次に繋がるかもしれないと思いながら、必死に良い射を目指し一本一本岩村らしく確実に引き切るつもりで引いていました。

決勝トーナメントでは二回戦、鹿児島県と当たり、地元には勝ちたいと思っていましたが、あと一步届かず敗退となりました。

来年は佐賀国スポ、今年の悔しさや反省を武器に、名称変わって初めての国民スポーツ大会の頂点を目指しました。挑んでいきたいと思えますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

保科 良介

国体を終えて

初めての本国体出場、遠的3位、近的7位という結果を得られたのはひとえに監督、コーチをはじめとした強化部の先生方、チームの仲間、そして私に関わってくくださった皆様のおかげと感謝しております。

特に同じ成年男子で引いていた岩村・蟹澤は私より経験豊富な選手で、最年長ながら私は二人に引つ張られて結果を残すことができたと感じています。感謝の念に堪えません。

この結果に満足することなく練習を続け、さらに上位の結果を出すことが最大の恩返しと思っております。本当にありがとうございました。

蟹澤 史弥

一射の重み

十月に行われたかごしま国体で私達成年男子は近的7位、遠的3位と両種目で入賞する事ができました。

成年男子の両種目入賞は和歌山国体以来、実に八年ぶりの入賞とのこと非常に嬉しい気持ちでございます。このような結果が出たことはひとえに外園先生をはじめ国体強化部の先生方、応援をしてくださったすべての皆様のご指導のおかげです。本当に感謝の気持ちしかありません。

一方で、やはり勝負ごと。目指すところは優勝の二文字でした。正直悔しい気持ちも隠しきれません。国体は一人では勝てません。補欠の選手含め四人が同じ場所を目指してスタートラインに立てるので私は思いません。だからこそ一射一射の重みが本当に違います。自分一人が中てるだけではダメですし、運悪く抜いてしまったとしても仲間の一本で覆ることもあります。私は福井国体、茨城国体を経験させていただき今回三回目の出場ですが、回数を重ねることにひしひしとこの重みを実感いたしました。

国体が終わり、師である外園先生に報告したとき言われたことは「本国体で忘れ物をしているのだろ？その忘れ物を回収しに行かない」と言われました。忘れ物を回収するためにまた一から練習に励もうと思っております。

と、あまりネガティブな発言はこの辺にしておきます。このかごしま国体でこのような成績を収められたのは一緒に戦ってくれた二人と応援してくださった皆様のおかげだと思います。改めてここでお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

伝えたいことがありすぎてうまく文章がまとまりませんが報告と感謝の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございます。またこれからもよろしくお願いたします。

長野県地域社会弓道指導者研修会を開催して

長野県弓道連盟会長 松島 貞治

令和五年九月十六日、十七日の二日間、飯田運動公園弓道場で地域社会弓道指導者研修会を開催した。これは、公益財団法人日本武道館が中心となり主催する国庫補助事業の研修会で、長野県弓道連盟では初めてだと思えます。

杉田先生からも講師を派遣してくれることだし、長野県でも開催したらとの進言もあり申請したところ認められたものです。長野県立武道館が窓口となつて、研修会前の調整、準備、また当日も対応してくれました。講師は、主催団体の一つである全日本弓道連盟からの派遣で、今回の長野県会場には、愛知県近藤峯英範士、茨城県の福地平教士八段の二人が来飯されました。近藤範士は、今年から全弓連の役割変更で講師に回られた大ベテランの範士、福地教士は、五年二月の名古屋で八段に



昇段された新進気鋭の先生で昇段後中央委員となり講師で活躍されております。受講生については、概ね七十歳以下の六段の先生方を中心として会長推薦とさせていただきました。

近藤先生は、飯田へ見えられるのは三回目です。前回も参加していますがとにかく厳しい、これが第一印象でした。それだけに近藤先生なら県内の若手にとつても良い刺激になるものと思つています。そんな第一印象の近藤先生ですが、実際はそれだけではなく、矢渡の射手を務めた私には、厳しい中にも温かい指導、指摘を貰いました。個人的には、二晩講師の先生と酒を飲みながら懇談し、愛知県、茨城県の様子や射技に関する話をお聞きし大変勉強になりました。それらを含め、講師の先生方の言われたことを整理してみます。

近藤先生は、終始、強い射を出すように、と言われました。弓は抵抗力、自分



の身体を十分活かして、矢束いっぱい引き納め、その弓の持つ最大の反発力を引き出せるような射を、それは弓の強さというより身体で矢勢を出せるかどうか。両肩で受けてさらに伸びていけばバネが効いて強い射が生まれると話され、私の矢渡を含めた射は、それが全然できていない、ということでした。

言葉こそ違え、福地先生も同様のことを言われ、その納まりのために弓構え、大三がほんとうに重要ということでした。講習会に関し、近藤先生から、ここで覚えるということはやめてほしい、自分の稽古が正しいかどうかそれを確認する場ではなく、指摘され、そして、現状維持では後退です、これでとどめを刺されました。

夜は、講師の先生方にお願ひし受講生といっしょに懇親会を実施しました。そろそろ片付けになりますので、と言われる時間まで弓道談義に花が咲き、これが講習会だよなあ、と思いました。受講生には、宿泊、懇親会を含め自己負担をしていただきましたが皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

謹賀新年

遠的ダンボール白黒 (79cm・100cm)
遠的ダンボールカラー (100cm)
遠的紙カラー貼り合わせ (100cm)

〒380-0935
長野市中御所1-12-5
TEL ▶ 026-228-3443
FAX ▶ 026-223-4855
通常 ▶ 8:00~18:00
日・祝 ▶ 8:00~17:00
定休日 ▶ 月曜日

全日本弓道具協会会員



有限会社 中島弓具店

URL ▶ <http://www.nakajima-kyugu.com>

E-mail ▶ info@nakajima-kyugu.com

令和5年度 祝射会

令和5年11月19日(日)
於:塩尻市弓道場



祝射会 表彰者一覧

《敬称略》

本年度表彰者は以下の弓士の方々です。それぞれの場合のご活躍をお喜び申し上げます。

■全国大会入賞者

○特別国民体育大会(鹿児島国体)

・成年女子 近的優勝

遠的8位

中島 冬萌

蟹澤 絢音

藤澤 敏恵

亀岡 英司

遠的3位

近の7位

岩村 拓生

保科 良介

蟹澤 史弥

永藤 聡

監督

成年男子

岩村 拓生

外園 公毅

中村 美穂

大蔵 務

松下はるみ

岩村 拓生

山口 泰

小堀 博司

保科 良介

小田切雄一郎(飯山)

亀岡 英司(南佐久)

湯澤 秀雄(上伊那)

郷道 隆志(中高)

大島 健裕(木曾)

飯田 秀樹(飯山)

長野支部

最優秀支部

■退任役員

昇格・昇段
・八段 外園 公毅
・七段 中村 美穂

■昇格・昇段

○第74回全日本弓道大会
・有段の部 優勝

監督 岩村 拓生

速報

第74回全日本弓道遠的選手権大会
優勝 岩村拓生選手

おめでとうございます

詳細は次号(89号)に掲載します。

明けましておめでとうございます

弓道合宿予約随時受付中!

帝産ロツヂ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山 1003

HP : <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは0267-98-2861

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)

12人立2ヶ所

遠的道場 1ヶ所

私と弓道

塩尻支部 五段 小林恒太

私が弓道と出会ったのは高校生の時でした。ボール競技が苦手、陸上も苦手、音楽美術もからつきし、だけど何か部活をしたい！ということで弓道部に入った記憶があります。

弓道の価値観が大きく変わったのは大学弓道でした。とにかく的中しないと話にならないですし、そのせいか同期の男子部員は全員辞めていき、三年の時には私一人になっていました。プレッシャーを受けつつも先輩後輩を頼りながら日々の稽古を乗り切っていたと記憶しています。

私の大学弓道では一つ、大きな転換点がありました。もた



これの発症です。二十歳の時にとある試合で、プレッシャーから外すことへの恐怖感を感じてしまい、離れが出せなくなりました。その後、巻き藁でもゴム弓でも離れが出なくなり、酷いときは1分ほど耐え抜いて、力尽きながら離れることもあれば、暴発もあるため、弓がトラウマになった時期もありました。もたれは一本に相当な体力と集中力を消費するため、無理して矢数をかけると弓手親指が腱鞘炎になり、弓が引けなくなることも多々ありました。

今はもたれが軽くなりましたが、いつ重症化するかわからない恐怖があります。もたれがうらやましい、どうやったら会をそんなにもてるの？と聞かれることもあります。体への負担も大きいのでそんなに良いものではないと思います。そもそも、なぜ会をもちたいのか、会で何をしたいのか、を考える事のほうが大事なのかなと感じます。私の場合は離れを出すのがゴールなので、中てるためには？は二の次でいつも考えています。

ただ、もたれと長く付き合う中でもたれの良いところも見えてきました。一つは試合や審査でも練習のように引けることだと思えます。会に入つてじっくり伸び合い、心を落ち着かせながら的に向きあう時間を確保できるのは会が長いことの特権と考

えるようになりました。昔はもたれがコンプレックスでしたが、一般弓道会に入つていろいろな方のご意見を聞いていく中で、会の長さは自分の射の特長、味と考えられるようになりました。とは言つても矢数をかけられるようになりたいため、継続して会を短くするた

大会結果

第65回 塩尻市武道大会

○令和5年9月17日(日) 塩尻市弓道場

参加人数・高校47名、一般48人

個人の数(8射) 高校二一般共通

1位 神通川浩一(松本A)

2位 林 義徳(木曾義仲A)

3位 福嶋 瞭典(代田組)

4位 百瀬 友彦(塩尻C)

5位 関 正幸(松本A)

団体の部(12射)

▲高校

1位 都市大C(高橋海晴、齊藤楓果、瀧田穂乃香)

2位 都市大B(篠原正輝、高見紘生、田中綾音)

3位 志学館男子B(片平俊輔、渡辺浩太、小林侑羽)

▲一般

1位 松本A(関正幸、三村仙市、神通川浩一)

2位 混合A(林寛人、三好敬太、小林恒太)

3位 安曇荒井ゆき子、竹岡幸彦、松井幸彦

参加人数・高校286人

個人の数(8射)

▲男子

1位 中村 正和(中野西B)

2位 山田 淳斗(市立長野A)

3位 金子 慶大(文化学園B)

▲女子

1位 山崎 桃子(長野日大C)

2位 宮本 史織(長野日大E)

3位 小宮山和奏(須坂D)

▲団体の部(24射)

▲男子

1位 長野日大D(小林夢良、小林千暉、小井土寿春)

2位 飯山A(伊藤楓斗、清野智貴、小林裕太)

3位 中野西A(長谷川結大、竹内慧)

2023 信州ねりんピック弓道競技

○令和5年10月7日(土) 駒場公園弓道場

参加者・45名

個人の数(8射)

1位 金原 正(佐久)

2位 笠井 信夫(長野)

3位 三村 仙市(松本)

▲最高年齢賞

丸山 清一(諏訪) 谷 敏子(大北)

▲ねりんピックはばたけ鳥取2024

丸山 清一(諏訪) 谷 敏子(大北)

第40回 無相大師奉賛弓道大会 高校の部

○令和5年9月24日(日) 中野市弓道場

参加人数・高校286人

個人の数(8射)

▲男子

1位 中村 正和(中野西B)

2位 山田 淳斗(市立長野A)

3位 金子 慶大(文化学園B)

▲女子

1位 山崎 桃子(長野日大C)

2位 宮本 史織(長野日大E)

3位 小宮山和奏(須坂D)

▲団体の部(24射)

▲男子

1位 長野日大D(小林夢良、小林千暉、小井土寿春)

2位 飯山A(伊藤楓斗、清野智貴、小林裕太)

3位 中野西A(長谷川結大、竹内慧)

第43回 長野市民体育祭弓道大会

○令和5年10月8日(日) 長野運動公園弓道場

参加人数・中学31名、高校199名、一般50名

個人の数(8射)

▲中学

1位 北向 真士(文化学園長野)

2位 裏 遼真(長野日大)

3位 齊藤 真緒(長野日大)

▲一般

1位 月岡 靖雄(善光寺A)

2位 赤芝 眞平(赤柴組)

3位 中島 淳児(北部OB)

▲団体の部(24射)

▲高校男子

1位 長野吉田C(松崎陽向、望月響、深瀬悠)

2位 篠ノ井(松坂佑宇、高野伶唯、宮下結宇)

3位 長野商業B(下田真翔、春日原直弥、西野高生)

▲高校女子

1位 長野日大E(北村ひなた、宮本史織、牛山愛菜)

▲女子

1位 長野日大E(北村ひなた、宮本史織、牛山愛菜)

2位 長野日大D(北條花音、西澤来春、小林ひな)

3位 長野日大C(本里々杏、山崎桃子、宮尾優亜良)

丸山 清一(諏訪) 谷 敏子(大北)

弓仲間紹介

上小支部上田市弓道協会

小坂井規恵

私が弓道を始めたのは高校の部活でした。姿勢のカッコ良さに惹かれて直ぐに入部しました。入部して一週間ほどは、道場内で正座をする日々でした。その辛さに沢山いた入部希望者は次々と辞めていきまし
た。この一週間で私の強い精神力が培われたと思いま
す。

引退してからは、たまに埃の被った弓を横目で見ながら、もう弓を引く事はないだろうと思っていました。

そんな私が再び弓道を始める事になったのは、我が子が高校で弓道部に入ったからです。試合を見に行つた時、静まり返つた中、弦音と的に中る音。懐かしさが溢れてきました。

そこから再開し五年が経ちました。私が所属する上田市弓道協会には、十代から八十代まで約八十



名の会員がおります。上も下も親子ほど離れた仲間と練習に励んでおります。その中の気の合う仲間三人で、大会や講習会に参加しています。協会のある上田の道場は、桜で有名な上田城跡公園の隣にあります。そこから「上田城舞桜」とチーム名を付けました。「姥桜」などと言う声も聞えてきますが、気持ちは高校生の頃と変わらず、練習している時も他愛のない話をしている時も、本当に楽しいです。そう思っているのが私だけでないとい

のですが…。共に上を目指して頑張りたいです。三人娘(?)を見かけたら気軽に声を掛けていただけたら嬉しいです。

高校の時に付いた癖がなかなか直らず苦労しています。が、指導してくださる先生方、「今の良かったよ」や「良くなってきたね」と声を掛けてくれる仲間の言葉が頑張る力になっています。いつもありがとうございます。出来の悪い私ですが、これからもよろしくお願

- 第72回 上田市民総合体育大会
令和5年10月8日(日) 上田市民総合体育大会
参加人数・中学5名、高校8名、一般21名
- 個人部(8射)
 - ▲高校
 - 1位 宮尾優亜良
 - 2位 長野日大D(北條花音、山崎桃子)
 - 3位 長野日大B(小林海月、島田葉那、松澤萌愛)
 - 3位 長野C(中村晴風、伊藤未羽、鈴木心詞)
 - ▲一般
 - 1位 運動公園D(大和侑高、押見恭子、佐藤正之)
 - 2位 善光寺A(月岡靖雄、影山善一、奥山誠治)
 - 3位 赤とんぼ(滝澤聡子、林部恵美子、町田孝夫)

- 第66回 松本市民スポーツ大会「秋季大会」
令和5年10月9日(月祝) 松本市弓道場
参加人数・高校14名、一般52名
- 個人部
 - ▲高校(8射)
 - 1位 佐々木音種(松商O)
 - 2位 杉浦 悠太(美須々男子A)
 - 3位 岡本 涼(松商M)
 - 4位 森田 凜(松商I)
 - 5位 井口 菜緒(松商P)
 - ▲一般
 - 1位 仲島 涼乃(信州大学混合C)
 - 2位 三村 仙市(松本D)
 - 3位 山野井一幸(松本E)
 - 4位 前田 涼(松本H)
 - 5位 茅野 祐子(松本J)
 - ▲高校
 - 1位 美須々男子A(川窪暁介、赤羽陸、杉浦悠太)
 - 2位 松商O(前田春花、佐々木音種、柳澤怜奈)

- 第47回 佐久市弓道大会
令和5年10月9日(月祝) 駒場公園弓道場
参加人数・高校71名、一般46名
- 個人部
 - ▲高校(8射)
 - 1位 伊藤 樹里(小諸商業)
 - 2位 佐々木星音(岩村田)
 - 3位 小平 巴琉(小諸商業)
 - 4位 小林 陽向(岩村田)
 - 5位 尾沼 優菜(小諸商業)
 - ▲一般(12射)
 - 1位 大井 峯幸(佐久)
 - 2位 依田 優太(小諸)
 - 3位 新倉 公輔(佐久)
 - 4位 金原 正(佐久)
 - 5位 持田 武二(佐久)

- 第58回 池田町弓道大会
令和5年10月15日(日) 池田町弓道場
参加人数・高校121名、一般76名
- 個人部(8射)
 - ▲高校
 - 1位 高橋 海羽(県ヶ丘)
 - 2位 旗町 光希(県ヶ丘)
 - 3位 山下 梓佳(豊科)
 - 4位 黒岩 咲希(豊科)
 - 5位 粟津原悠大(県ヶ丘)
 - ▲一般
 - 1位 関 正幸(松本A)
 - 2位 小田切祐典(須坂A)
 - 3位 藤澤 英輝(澤澤A)
 - 4位 藤澤 一樹(安曇C)
 - 5位 松井 幸彦(飯長安MI-X)
 - ▲高校
 - 1位 豊科D(黒岩咲希、山下梓佳、田崎陽和)
 - 2位 縣陵A(高橋海羽、武田直玖、粟津原悠大)
 - 3位 松本蟻ヶ崎A(青木航大、藤沢悠人、山口健介)

- ▲高校
 - 1位 美須々男子A(川窪暁介、赤羽陸、杉浦悠太)
 - 2位 松商O(前田春花、佐々木音種、柳澤怜奈)

- ▲一般
- 1位 塩尻B(宮原勝広、百瀬友彦、小林恒太)
 - 2位 松本A(関正幸、三村仙市、神通川浩)
 - 3位 東信(小原弓佳、長谷川匡紀、小島樹)

第21回 千曲市長杯弓道大会

令和5年10月22日(日) 千曲市弓道場

参加人数:40名

▲一般個人(8射)

- 1位 小原 弓佳(上田)
- 2位 小林 恒太(塩尻)
- 3位 久保田智恵(千曲)
- 4位 西澤 徹(大北)
- 5位 小島 樹(上田)

第34回 国宝松本城奉射弓道大会

令和5年11月3日(金・祝)

松本城二の丸御殿跡特設射場

参加人数:一般15名、松本弓道会+信州大学全学60名

▲近的個人(予選一手、決勝射詰競射)

- 1位 石塚 憩弥(信州大学)
- 2位 大森 翔子(信州大学)
- 3位 市野 敏明(愛知県)

第21回 千曲市長杯弓道大会 高校の部

令和5年11月3日(金・祝) 千曲市弓道場

参加人数:171名

▲団体(部)(24射)

- ▲男子
- 1位 池田工業A(酒井大貴、中山凌旺、高山翔威悠)
 - 2位 長野日大B(小林夢良、前川悠太、小井土寿春)
 - 3位 長野日大D(丸山志文、関口大輝、松本悠希)
- ▲女子
- 1位 長野日大D(北村ひなた、宮本史織、牛山愛菜)
 - 2位 長野日大C(北條花音、山本里々杏、宮尾優亜良)
 - 3位 田川B(水野寧々、堀内心暖、森レナ)

第55回 県下弓道飯島大会

令和5年11月3日(金・祝) 飯島町弓道場

参加人数:中学3名、高校18名、一般17名

▲個人(部)(8射)

- 1位 高校 登内 琉真(高遠A)

- 2位 飯島 翔生(高遠A)
- 3位 木下 佳音(伊那西A)
- 4位 小林 望美(伊那西D)
- 5位 清水 絢音(高遠B)

▲一般

- 1位 蟹澤 契太(駒ヶ根K)
- 2位 蟹澤 絢音(駒ヶ根K)
- 3位 手塚信一郎(飯島)
- 4位 蟹澤 史弥(駒ヶ根K)
- 5位 杉山 滋志(駒ヶ根F)

▲男子

- 1位 中野 鈴葉
- 2位 池戸 愛莉
- 3位 米山さくら

▲女子有段者

- 1位 長野県(中島冬萌、蟹澤絢音、藤澤敏恵)
- 1位 長野県(清水北登、高地美佐子、新津一夫)

▲称号受有者

- 1位 蟹澤 絢音(長野県)
- 3位 中島 冬萌(長野県)

▲個人(部)(12射)

- 1位 女子有段者
- 1位 藤森千友貴(混合)
- 2位 保科 良介(上田城B)
- 3位 上田城B(小原弓佳、小島樹、保科良介)

第53回 北信越弓道選手権大会

令和5年11月5日(日) 新潟県立武道館弓道場

参加人数:36射

▲男子有段者

- 1位 長野県(新倉公輔、蟹澤史弥、藤森千友貴)
- 2位 長野県(新倉公輔、蟹澤史弥、藤森千友貴)

▲女子有段者

- 1位 長野県(中島冬萌、蟹澤絢音、藤澤敏恵)
- 1位 蟹澤 絢音(長野県)
- 3位 中島 冬萌(長野県)

▲称号受有者

- 1位 新津 一夫(長野県)
- 3位 清水 北登(長野県)

▲総合成績

- 1位 長野県

第66回 信州上田城弓道大会 一般の部

令和5年11月12日(日) 上田市城跡公園弓道場

参加人数:8射

▲個人(部)(8射)

- 1位 手塚 信幸(上田城D)
- 2位 藤森千友貴(混合)
- 3位 保科 良介(上田城B)

- 2位 SALT SIPS混合(井出克彦、渡村久志、生田憲克)
- 3位 信A(西村大志、長谷部優祐、齋藤皓己)

第74回 全日本弓道遠的選手権大会

令和5年11月26日(日) 全日本弓道連盟中央道場

▲男子の部

優勝 岩村 拓生(長野県)

昇段昇格者

▲北信越地区 臨時中央審査会

保科 良介(五段) 上伊那支部

▲六段の部

保木野克海(錬士五段) 長野支部

▲関東地区 臨時中央審査会

小田切祐典(錬士五段) 須高支部

▲東京 定期中央審査会

中村 美穂(教士六段) 諏訪支部

▲令和5年度 推薦結果

外蘭 公毅(教士七段) 上伊那支部

大蔵 務(教士六段) 須高支部

訃報 (敬称略)

長野県弓道連盟 上小支部

参段 宮坂 武雄(90歳)

令和5年10月9日ご逝去されました

長野県弓道連盟 上伊那支部

五段 赤須 昭正(85歳)

令和5年12月4日ご逝去されました

ここに謹んで哀悼の意を表し、

お知らせ申し上げます。

上伊那支部 下田広美

弓道なご

弓道は老若男女を問わず、長く楽しめるものと言われています。しかし、私ぐらゐの「お年頃」になると「肩が痛くて」「視力が落ちて、的が見えない」「寒いからごしたいなあ」等、体力・気力の低下を感じ、元気に弓も引けないなあと思うことがあります。先生方、大先輩がお元気に弓を引いていらつしやるのに何を言っているかと怒られそうですが、昨年、夏の訪れを感じる頃、いつも一緒にお稽古していた大先輩(本当は「先生」と呼ばれるべきお立場の方でしたが、そう呼ぶと怒られたので、こゝでもこのようにお呼びします)が、病氣療養中のごとき、この世を去られました。いつまでも一緒に弓を引けると思っていたのに、もうそんな日が来ないことを悲しく、寂しく感じます。ひとは、加齢や突然の病、事故などにより、今まで当たり前のように生きてきたことができなくなる時が来ます。私だつていつかそういう時はやってくると思ひます。だからこそ、今、弓を引けることに感謝、先生方、弓仲間と一緒に稽古ができることに幸せを感じつつ、弓を引き続けたいなあと思ひます。道場には持ち主がいなくなった弓矢が寂しそうにしています。でもどこからか「おお、下さんよく来たじゃん、さあ、やるか」という声が聞こえてきます。さあ、今日も頑張つて道場に足を運び、弓を楽しむたいと思ひます。

上伊那支部 下田広美